

発問の工夫と書く活動に力点を置いた「考え、議論する道徳科の授業」

高内 玲子（宮崎市立大宮小学校）

授業のポイント

本実践においては、児童の問題意識を生み出す発問の工夫を行うことで、多様な感じ方や考え方を引き出し、道徳的価値にかかわる価値観を深められるような授業づくりを心がけました。指導においては、児童の思考の流れを予測し、考える必然性・切実感のある発問、自由な思考を促す発問等を想定し、「なぜそう思うのか」と問うたり、ワークシート等に考えを整理させたりすることで、道徳的価値を実現することのよさや難しさを確認し、今後の発展につなげられるようにしました。

授業の実際

(1) 主題名【教材名(出典)】 みんなが楽しく【ぼくのボールだ（日本文教出版）】

(2) ねらい

ドッジボールに勝つためにボールを渡したのは「間違っていたのだろうか」と考え始めた「ぼく」の思いから、誰とでも公平に接しようとする態度を養う。

(3) 本時の展開

導入 本時学習への方向付けをし、問題意識をもって学習に臨ませる。

- ア ドッジボールで、強いボールを投げる友達に勝つためにボールを渡してしまった経験が、日頃の遊びの中で自分たちにもよくあったことに気付けるようにしました。
- イ 勝ちたい気持ちからボールを人に渡すことについて、「本当によいのか」、「みんなはそれで楽しいのか」と問い、問題意識をもって学習に臨めるようにしました。

◆ 指導のポイント

教材の内容と日頃の遊びの様子とを重ねて提示することで、道徳的な問題を身近に捉えられるようにしました。日頃のドッジボールの様子を想起させ、自分たちもボールを渡すことがあるということを確認し、教材の中の「ぼく」に共感できるようにしました。

展開 ワークシート等を使い、自分の考えや根拠をまとめ、意見交換を図る。

- ア 児童の発言をつながげながら、教材の中の「ぼく」がたかしくんのボールを取ったのは、自分が投げたいからではなく、チームが勝つためにとった行動であることに気付けるようにし、「ぼく」の心情に共感することができるようにしました。
- イ 自分の考えを明確にするために、ワークシートに考えを書く時間を十分にとり、自分の考えと理由を記入したワークシートを基に意見を発表させることで、友達の多様な考えにふれさせ、多面的・多角的に考えることができるようにしました。
- ウ みんなが楽しく過ごすためには、どうしたらよいか、板書を基に振り返り、自分の考えをまとめることができるようにしました。

◆ 指導のポイント

「『ぼく』はどちらに渡すと思いますか」ではなく、「自分が『ぼく』ならどちらに渡しますか」と問うことで、主人公の気持ちを考えるのではなく、自分の判断や考えを明確に

することができるようにしました。そうすることで、次の『ぼく』は間違っただけをしたと思いますか、思いませんか』の発問に児童が深く向き合うことができるようにしました。ここでは、間違っているという意見が多くなると予想されたので、児童の発言やつぶやきに沿った問い返しをし、考えをより深められるようにしました。

終末 道徳的価値に対する思いや考えをまとめる

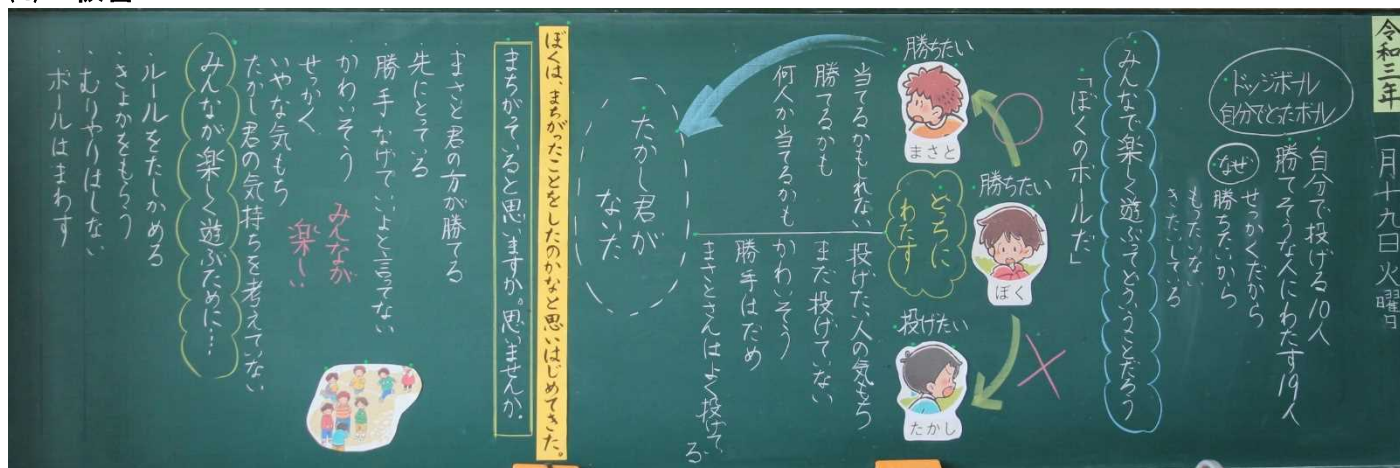
ア 「今日の学習で心に残っていること、気付いたこと、勉強になったと思うことを書きましょう」と視点を示した上で書く活動に取り組みさせることで、友達の考えを聞いて考えたことや感じたことを書くことができるようにしました。

イ 友達の意見を聞き合う時間を設定することで、多様な考えにふれ、道徳的価値に対する自分の思いや考えを更に深められるようにしました。

◆ 指導のポイント

児童それぞれの感じ方、考えが表れる場面であるため、机間指導の際には、授業について振り返っている児童、自分の経験に合わせてまとめている児童、友達の考えについてまとめている児童などを見取り、いろいろな視点から発表し合えるように意図的指名をしながら発表させました。

(4) 板書



評価のポイント

授業中は、座席表を手元におき、授業中の児童の発言やワークシートに書いてあることを記録していきました。そうすることで、机間指導の際に、配慮が必要な児童への言葉かけをしたり、発言には出てこない児童の考えをくみ取ったりすることに生かすことができました。また、終末に授業の振り返りを書かせることで児童が授業でどのように考え、自分の考えを深めることができたか、評価できたり、教師の授業の組み立て方、指導方法の振り返りを行ったりすることができました。

授業を振り返って

発問構成を考える際には、やはり、教材研究の大切さを感じました。書く活動においても、十分な時間の確保の大切さを再認識しました。また、児童の思考に沿った補助発問をしたり、つぶやきを聞き逃さないような技量を教師自身が高めたりしていくことで、より児童に深く考えさせる授業ができるようになるのではないかと思います。



本授業のダイジェスト
動画はこちら